

教育民生 分科会(予算決算常任委員会) 常任委員会

教育民生常任委員会に付託を受けた議案および予算決算常任委員会教育民生分科会に分担された議案について審査した結果、主に下記内容が議論されました。

- ◆委員長／中西庸介
- ◆副委員長／江曾ゆかり
- ◆委員／木戸奈緒美、和田内和美
木下美也子、山崎智之

主な審議内容

【議案第37号】 **11月第2回会議**
令和4年度七尾市一般会計補正予算(第7号)
◆健康増進センターアスロン改修工事等費(債務負担行為)について

- Ⓜ今後、施設運営における需要見込みについてどう考えているか。
- Ⓜ人口減少で実績がどうなるかわからないが、コロナ禍前の11万人の利用を目指しており、指定管理者により、目標に向けた運営を行っていたきたいと考えている。
- Ⓜアスロンのレジャープールは子どもの遊び場として必要な施設だと思うが、全面改修に含まれているか。
- Ⓜ大規模改修のなかを含めた改修を計画しており、屋内の遊び場として貴重な財産であり、安全に利用できるように考えている。



【議案第59号】 **11月第2回会議**
令和4年度七尾市一般会計補正予算(第8号)
◆園児等送迎バス安全装置整備事業費について(公・私立保育所運営費、地域児童健全育成推進事業費について)

- Ⓜバスの置き去り防止の安全装置とはどのようなものか。
- Ⓜエンジンを止めるとブザーが鳴る。車内を確認しながら車両後部にあるボタンで解除するといった標準的なもののほかにいろいろグレードがある。
- Ⓜグレードがいろいろあるとのことだが、そのグレードは園のほうで決めるのか。
- Ⓜそれぞれの園で、安全に児童を乗降できるものを選んでいただく。
- Ⓜ子どもはイスの下にかくれたりとかする。安全装置だけに頼るのではなく、目視で園児が残っていないか確認するよう指導していただきたい。
- Ⓜ園児の安全安心に関わることなので、安全装置を付けて終わりということではなく、運用についてもしっかり指導していく。

産業建設 分科会(予算決算常任委員会) 常任委員会

産業建設常任委員会に付託を受けた議案および予算決算常任委員会産業建設分科会に分担された議案について審査した結果、主に下記内容が議論されました。

- ◆委員長／木下敬夫
- ◆副委員長／徳田正則
- ◆委員／高橋正浩、佐藤喜典
垣内武司、今田勇雄

主な審議内容

【議案第34号】 **11月会議**
令和4年度七尾市一般会計補正予算(第6号)
◆世界農業遺産「能登の里山里海」活用推進事業費について

- Ⓜトキが舞う里ななおの実現に向けての補正ということで、今年度はあと3か月ほどだが、どのように進めていくのか。
- Ⓜ世界農業遺産の七尾市行動指針にある「持続」への取り組みにより、里山里海を未来へつなぐため、次世代子ども交流で佐渡市との学校間交流を行う予定としており、その準備体制を整える。

◆配合飼料価格高騰対策事業費について
Ⓜ市からの支援はどうなっているか。
Ⓜ県、市のそれぞれの支援割合は1/2、1/4である。

◆水道基本料金の免除について
Ⓜ免除することで、来年度以降水道料が値上がりすることはないのか。
Ⓜ電気・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金を活用しており、免除することによって水道料が値上がりすることはない。

【11月会議】 委員会付託 ・なし
分科会分担 ・議案 2 件

【11月第2回会議】 委員会付託 ・議案 3 件
分科会分担 ・議案 3 件

【議案第37号】 **11月第2回会議**
令和4年度七尾市一般会計補正予算(第7号)
◆交流人口拡大事業について

- Ⓜアジア圏テレビドラマ国際会議に市はどのように関わるのか。観光地として情報発信などで効果が出る進め方をしてほしい。また、この機会を人材育成の一環として市職員が参加することは可能か。
- Ⓜ地域の歴史・文化を活かし、アジア圏テレビドラマ国際会議に関係する音楽家や芸能関係者などつながりを持ち、その関係者がもう一度七尾に来て演劇堂で舞台を行うなどといったことにつなげていきたい。また、効果としては七尾市内が撮影現場となり、その場所に観光客が訪れることを期待する。また、人材育成の一環としては、せっかくの機会であり、秘書人事課と調整し、職員が参加できるよう調整したい。

◆排水ポンプ車整備事業について
Ⓜなぜ特別会計ではなく、一般会計での計上なのか。
Ⓜ排水ポンプ車の整備目的が汚水の処理ではなく、雨水の処理であるため。

現在配備中の排水ポンプ車